

八頭町地球温暖化対策実行計画取組結果の公表 (H22年度実績)

■ 削減目標

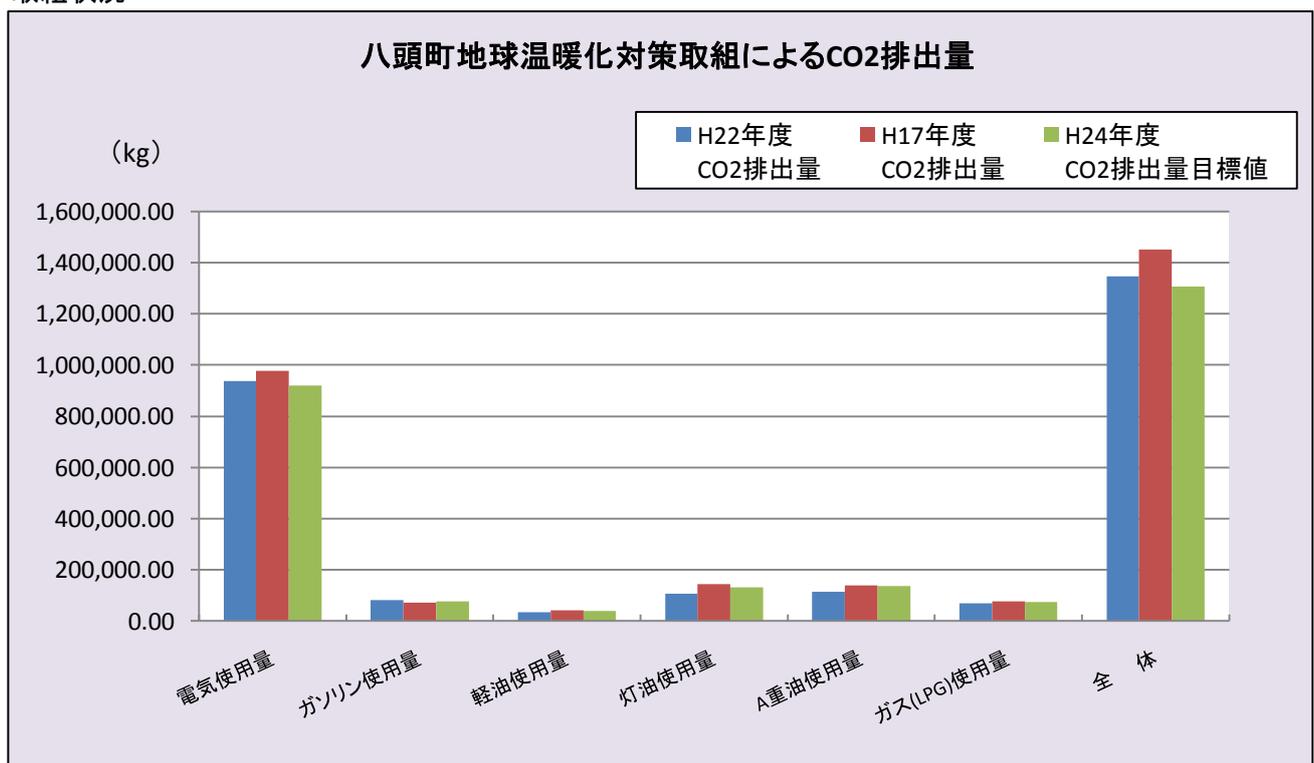
本計画の実施により、平成24年度の二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年度対比で5.0%削減することを目標としてきました。平成22年8月に平成21年度実績をもとに目標値を見直し、平成24年度の二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年対比で9.0%削減することを目指しています。

■ 各取組項目別の削減目標とH22年度使用状況

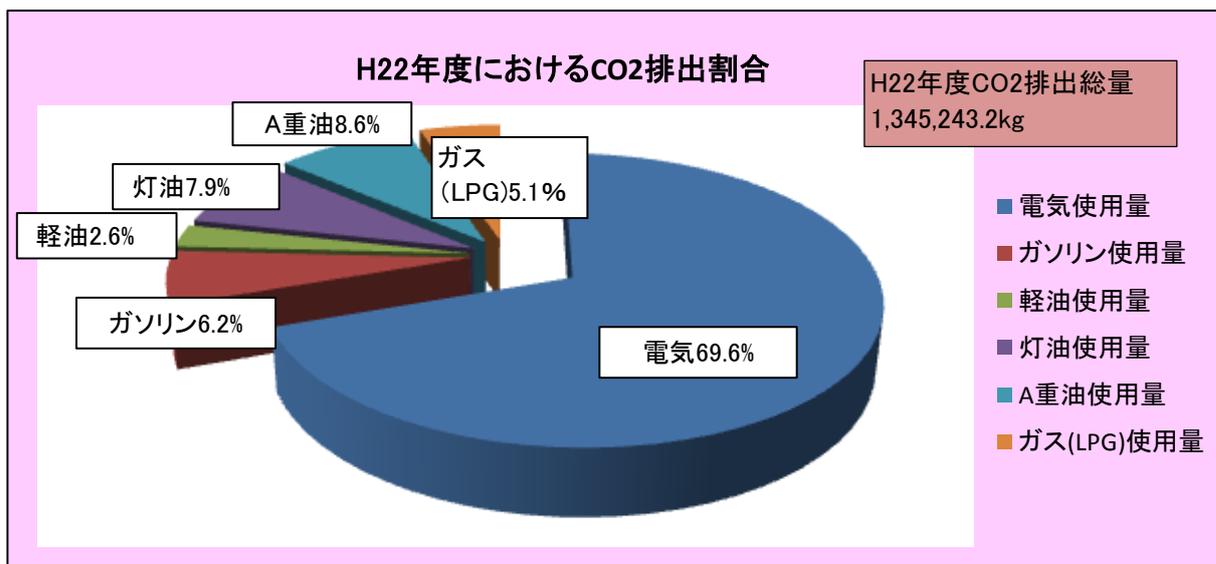
項目	H24年度目標 (対H17年度比)	単位	(基準年) H17年度 使用量等	H22年度 使用量等	H22年度 CO ₂ 排出量 (kg)	使用量等 削減率	H22年度 達成状況
電気使用量	8%以上削減	kwh	1,760,822.0	1,688,350.0	937,034.3	4.1%	×
ガソリン使用量	7%増までに抑制	ℓ	30,876.5	35,785.5	83,022.4	-15.9%	×
軽油使用量	15%以上削減	ℓ	16,463.5	13,234.1	34,673.3	19.6%	○
灯油使用量	17%以上削減	ℓ	58,020.0	42,795.0	106,559.6	26.2%	○
A重油使用量	15%以上削減	ℓ	51,126.0	42,603.0	115,454.1	16.7%	○
ガス(LPG)使用量	8%以上削減	m ³	12,713.5	11,416.6	68,499.6	10.2%	○
紙使用量	5%以上削減	枚	—	2,630,783.0	—	—	—
水道使用量	可能な限り削減	m ³	—	38,734.0	—	(※12.0%)	○
可燃物排出量	可能な限り削減	kg	—	40,261.9	—	(※-2.0%)	×
グリーン購入	環境配慮型製品の積極的購入	%	—	98.7	—	(※-11.2%)	○
全体	CO ₂ 排出量を5%削減	H17年度CO ₂ 排出量		1,451,326.4		7.3%	○
		H22年度CO ₂ 排出量		1,345,243.2			

(注)表のうち、()の数値はH17年度使用量とH22年度使用量で算出した削減率

■ 取組状況



■ エネルギー別CO₂排出割合



■ 各項目ごとの取組結果

項目	取組結果
電気使用量	目標値(対H17年度実績値)8%以上削減に対して、4.1%の削減となりました。職員の省エネに対する意識改革を推進してきましたが、H22年度は気象の変動による気温の変化が激しく、電気使用量が増加しました。今後は目標値(対H17年度実績値)8%以上を目指します。
ガソリン使用量	目標値(対H17年度実績値)7%増に抑制に対して、H20年度17.1%の増、H21年度9.2%の増、H22年度15.9%の増となりました。原因は、公用車使用回数と走行距離の増大(本庁⇄支所や職場⇄現場)によるものです。アイドリングストップ、相乗り励行、経済速度の遵守、エアコンの使用抑制など、公用自働車使用手順書によりエコ運転等、引き続き徹底が必要です。
軽油使用量	目標値(対H17年度実績値)15%以上削減に対して、19.6%の削減ができました。各団体へのマイクロバス運行基準を見直し、調整したことが大きな効果をもたらしたと考えます。今後も引き続き、目標値(対H17年度実績値)15%以上を目指します。
灯油使用量	目標値(対H17年度実績値)17%以上削減に対して、26.2%の削減ができました。夏季・冬季における気候の影響もありますが、職員が意識改革に努め、灯油使用施設におけるクールビズ・ウォームビズに取組み、冷暖房使用等を控える等、省エネ実行をしたことによるもので、今後も目標値(対H17年度実績値)17.0%削減を目指します。
A重油使用量	目標値(対H17年度実績値)15%以上削減に対して、16.7%の削減ができました。A重油使用施設において、省エネを実行したことによるもので、今後は目標値(対H17年度実績値)15.0%削減を目指します。
ガス(LPG)使用量	目標値(対H17年度実績値)8%以上削減に対して、10.2%の削減ができました。主に給食センターや保育所調理室等の調理施設において、効率的にガスを使用したことによるものです。
紙使用量	H21年度までは各々の使用量を集計していましたが、H22年度から紙の購入量を根拠として集計したため、前年度(1,009,876.1枚)に比べ今年度(2,630,783.0枚)は2.6倍の使用量となりました。今後は、H22年度実績をもとに目標値(対H17年度実績値)5%削減を目指します。
水道使用量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、12.0%の削減ができました。すべての施設において節水に努めた結果です。
可燃物排出量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、2.0%の増であった。廃棄される可燃物の中にリサイクル用紙になるものが多いと予想されるので、「廃棄」するものと「リサイクルできるもの」とを分別徹底し、可燃物の削減に努めます。
グリーン購入	目標は「環境配慮型製品の積極的購入」で、H22年度のグリーン購入率は98.7%でした。H17年度に比べ、購入率は11.2%の増ですが、グリーン購入基本方針に基づき、指定物品の100%グリーン購入を目指します。

■ その他の取組

① ノーマイカー通勤

本町は、交通網が十分に発達しているとは言えないため、徒歩通勤が可能な職員を除き、車利用者がほぼ100%です。

地球温暖化対策におけるCO2排出削減と公共交通機関の利用促進のため、平成20年度から公共交通機関、自転車等の利用による、職員のノーマイカー通勤運動を実施しています。

※H22年度におけるノーマイカー通勤取組状況

削減距離	1052km
CO2削減量	190.67kg

② ペットボトルキャップリサイクル

町内の公共施設にペットボトルキャップの回収ボックスを設置。住民の方からもキャップの回収を行い、回収業者へ引き渡しています。

※H22年度中における回収量

248kg	約 99,360 個
-------	------------

■ まとめ

H22年度のCO2排出量は、H17年度と比較し、八頭町全体で106,083.2kgを削減することができました。(△7.3%)
しかし、項目別に見ると、「電気使用量」、「ガソリン使用量」と「可燃物排出量」において目標達成ができていません。「電気使用量」は温暖化による気温の変化によるもので、「ガソリン使用量」については事業実施や業務遂行における走行距離が増大していることが大きな要因ですが、手順書に従った運用を常に心掛け、できる限りのCO2排出量削減に努力していく必要があります。今後はクールビズやウォームビズの早期実施や、公用車については環境対応車の購入の実現化を図ることも対策の一つであると考えます。

また、可燃物排出量については、基本的なことではありますが、ゴミの分別を徹底し(プラスチック等の混入、リサイクル可能用紙混入等)、排出量の抑制が必要です。

他項目についても、職員は省エネや環境保全意識を常に持ち、H24年度目標達成に向けて取組を継続していきます。